

よねざわ

市議会だより

平成27年2月1日 Vol.135

シリーズ『輝く★地域活動』

ホームページ <http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1013.htm>



南原地区 『しめ飾りづくり』

輝く★地域の新春準備

万世地区

『万世大路散策事業』

輝く★地域の土木遺産



【特 集】

第3回「議会報告会・意見交換会」報告

各常任委員会所管の当局回答と検討事項 P14 ~ 17



12月定例会

2日～18日

議案23件を 原案のとおり可決

平成26年12月定例会は、2日から18日までの17日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、白根澤澄子議員の議員辞職許可の報告後、報告案件1件を了承、承認案件1件を承認、議案14件と請願1件を各委員会にそれぞれ付託しました。

4日、5日、8日には、15名の議員による一般質問が行われ、8日には追加議案2件を上程し、所管の委員会に付託しました。また、白根澤澄子議員の辞職に伴い、新たに議会運営委員1名を選任しました。

9日には総務文教常任委員会、10日には民生常任委員会、11日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願の審査を行うとともに所管調査を行いました。また、11日には追加議案7件を上程し、所管の委員会に付託しました。

12日には、予算特別委員会を開き、補正予算10件について審査を行いました。

15日には、悪臭問題特別委員会、及び市立病院建替特別委員会を開き、所管調査を行いました。

最終日の18日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案23件を全て原案のとおり可決、請願1件については不採択となりました。また、渋間佳寿美議員の議員辞職を許可し、それに伴い、米沢市農業委員会委員1名を推薦、議会運営委員1名を選任し、12月定例会を閉会しました。

委員会報告

各常任委員会で審査された質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼市立米沢図書館等の指定管理者の指定について

本案は、本市の公の施設管理を行わせる指定管理者について、平成28年度から5年間指定しようとするものです。

〔委員〕新文化複合施設を活用した、中心市街地活性化策の検討状況は。

〔総合政策課長〕商工会議所、地元商店街、まちなかの方々の代表と本市で中心市街地活性化協議会を組織しています

が、できるだけ早い段階で、米沢上杉文化振興財団にも参画いただいて事業の取り組みを考えていきます。

〔委員〕図書館、ギャラリー、まちなか駐車場の3施設の建設費用と、管理運営費は。

〔文化課長〕建設費が28億182万3000円で、管理運

営費が、毎年約1億8000万円です。

▼米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について

本案は、上郷小学校浅川分校を廃止しようとするものです。

〔委員〕平成27年4月以降の利用の計画は。

〔教育総務課長〕地域の意見を最大限に尊重してほしいとの意見を地元からいただいた

ことから、教育委員会として、また市としての利用について地元協議会の皆様と慎重に話し合いをする考えです。

〔委員〕まだ十分使える建物であることから、地元の意見を入れながら、地区の発展に寄与するように使うよう要望する。

▼米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市技能職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の一部改

正について

本案は、山形県人事委員会による職員の給与等に関する勧告に準じ、一般職の職員の給料月額等の改定を行おうとするものです。

〔委員〕実質給与が上がるのかどうか。また、手当は上げるが、据え置きになるというところをわかりやすく説明してほしい。

〔総務課長〕給料については、山形県人事委員会の勧告に準じた給料表を使うもので、若年層を中心に、引き上げがあり、影響額が約1540万円となります。また、期末勤勉手当の支給月数については、勧告に従って0.2月分引き上げますが、本市の財政状況を踏まえて実際の支給に当たっては、現行の支給月数の3.75月に据え置くもので、その結果、当分の間、毎年影響額の約5000万円を抑制することになります。

民生

▼米沢市立病院医師奨学資金貸付条例の設定について

本案は、市立病院の医師の継続的かつ安定的な確保に向

け、奨学資金貸付制度を設けるに当たり必要な事項を定めようとするものです。

〔委員〕国立大学、私立大学の授業料は大きく異なり、十分な貸付額としなければ、「就学を容易にし、医師の継続的かつ安定的な確保を図る」という目的は達成されないのではないのか。

〔市立病院事務局長〕公立、私立どちらでも対応できる奨学資金制度が望ましいと考えますが、病院単独で行う貸付であり、現状では、十分な貸付けができる経営状況ではないため、貸付上限額を200万円としています。

〔委員〕一般会計から支出することについて協議はしたのか。

〔市立病院事務局長〕要望は続けてきました。しかし常勤医が減少し、医師確保が困難になる中、奨学資金制度は、他自治体病院等の先行事例や、本院の看護師奨学資金制度についても一定程度効果があつたことから、少しでも医師確保につながるよう、病院単独でも実施するという判断をしました。

〔委員〕市立病院の医師確保を目的とするならば、出身地等の条件を付し、地元の人を

優先するべきではないか。

〔市立病院総務課長〕地元の高校から医学部に進学する生徒は少ないことから、出身地を問わないこととしています。

〔委員〕地元の高校を卒業して医学部へ進学する生徒が少ないことに、市立病院医師不足の根本的原因があるのではないのか。医師を目指すことができる環境をつくることで、今回の奨学資金貸付制度を効果のあるものにできるのではないのか。

〔市立病院総務課長〕地元の高校からの要請を受けて、医師を含め、医療関係の仕事をしてほしいという希望をもっている高校生を対象にした研修を、病院では受け入れております。

〔委員〕今後、奨学資金制度は拡充していく考えでよいのか。

〔市立病院総務課長〕経営状況を考慮した上で、希望としては拡充していきたいと思っております。

◎採決に当たって

〔委員〕市立病院がみずからの経営努力の中で、制度を創設することは評価するが、一方として一般財源からの支出も視野に入れ拡充しなければ、市立病院が本市の中で担

う使命は果たせないもので、市当局に対しても、この制度への応援体制を早急につくっていただきたいという思いも込めて、賛成する。

産業建設

▼玉の木町住宅等の指定管理者の指定について

本案は、本市の市営住宅及び共同施設の管理を行わせる指定管理者について、平成27年度から5年間指定しようとするものです。

〔委員〕入居希望者が手続き等で出向く回数ほどのぐらいあるか。

〔建築住宅課長〕入居希望者には、入居申し込みや相談で最低一回はお越しいただき、書類の不備等があれば二、三回お越しいただくこととなります。

〔委員〕指定管理者の事務所が中心市街地となることから、手続き等をされた方に対して、周辺駐車場の無料駐車券などを発行する考えはあるか。

〔建築住宅課長〕平和通り駐車場とホテルサンルート米沢の無料駐車券の発行を予定しています。

また、平成28年4月に開設する市営駐車場の無料駐車券、及び循環バスの無料乗車券の発行については、今後検討してまいります。

〔委員〕市営住宅を指定管理者制度で管理運営していくメリットとデメリットはなにか。

〔建築住宅課長〕メリットは、民間のノウハウを利用した入居者へのきめ細かいサービスの提供や効率的な施設運営ができることです。

一方、デメリットは、個人情報取り扱いに関する懸念や公営住宅法の規制により一部直営の業務が残ることです。



政 府
政 府鈴木
すずき章 郎
あきお
議員

企業誘致について

本市にも言えることだが、地方自治体は十分な予算がなく交付税や補助金等で国に頼らざるを得ない状況であり、近年は地方交付税が減額される中、企業を誘致することは、雇用の創出、市税の確保、将来にわたって安定的な市政運営を実現するための重要施策

の一つであるが、新たな優遇制度の考えは。

〔市長〕 米沢オフィス・アルカディアへの立地企業に対する助成金の上限を1億円から2億円に引き上げ、新たに八幡原中核工業団地への立地企業に対する土地取得費への助成制度を創設しました。また、産業用地の賃貸借制度と一人当たり30万円、上限額

政 府
政 府山村
やまむら明
あきら
議員

米沢のマラソン大会

平成29年度新栗子トンネルが開通して東北中央自動車道が通れるようになる予定だが、今までの例を見ると、高速道路の開通前にラン&ウォークなどの開放が報道されている。開通前に国交省・東北地方整備局と交渉し、ぜひ本市のマラソン大会を高速道路で

行えば、おもしろい企画になり、本市のコミーシャルになる。国交省・道路公団・高速道路のPRにもなる。またマスコミに取り上げてもらえれば費用がかからずに宣伝になるのではないか。新栗子トンネル8972mは無料で通れる道路トンネルとしては最長だということとこれとかみ合わせれば全国に情報発信がで



▲米沢おしょうしなハーフマラソン大会の様子

きるのではないか。
〔教育管理部長〕開通前のコース、トンネルを使用できれば本市のPRになります、ど

山形大学蓄電デバイス
開発研究センター（飯
豊拠点）について

1500万円の雇用奨励金制度及び立地企業の情報提供者への報奨制度も創設しました。今年度から日本立地センターに本市専任の企業立地推進員を配置したが活動実績は。〔市長〕 半年間で関東地域を中心に、企業等への訪問を86社に行いました。これまで本市の担当職員が訪問していなかった企業に対して専門員が訪問をしていることにより、企業誘致活動の幅が広がってきています。

飯豊町に蓄電デバイス開発研究センターが開設されることによって、蓄電関係企業の集積の形成がなされるのではないかと。雇用創出のために製造工場は、本市に開設できることを市長には、今後も山形大学に働きかけていくことを要望するがどうか。
〔市長〕 議員の望んでおられるような方向に進むように今後とも努力をしていきたいと思っています。米沢の開発、飯豊での組み立てと安全性のテストによって、総合的に蓄電デバイスの研究が進んでいき、それによって米沢市民も飯豊

自然環境とビオトープ

西條天満公園のお堀は、岸の崩れを土のうで土留し、濁って魚も見えず、きれいな水とは思えない。一連の事業の中で市政の目玉のまちなか空間と思うが、ビオトープ的な感覚を取り入れ、生物環境に良い、予算のかからないコンパクトな空間で水の浄化をできないか。歴史・教育・環境そしてまちの広場の代替え

んな規制等があるのか関係部署と相談し、さまざまな課題について検討したいと思っています。
〔建設部長〕 市民の憩いの場となるよう、水量やきれいな水を確保するため適切な維持管理に努めたいと考えています。
〔市民環境部長〕 山形県環境科学センターの水辺の健康診断は内容を調べたいと思います。

▲蓄電デバイス開発研究センター
（オフィス・アルカディア内）

町民も雇用の場と、お互いによくやる方向にいくように持っていきたいと思っています。

*ビオトープ：生き物が暮らす場所のこと



自民クラブ
えんどう まさと

遠藤 正人 議員

子育て支援医療費制度について

子育て支援医療費制度における外来受診の助成対象を中学3年生まで引き上げられないか。

〔市長〕全国的に対象年齢を中学生までとする市町村が多く、県内35市町村のうち31市町村が中学3年生までを対象

としています。本市は、今年度小学6年生まで拡大し、さらに中学3年生までの拡大が必要と考えており、実施への検討を前向きに行っているところです。なお、この制度は県の制度に各市町村が上乗せ助成をしているので、県に対し対象拡大を引き続き要望していきたいと思っています。



一新会
しんいち かわのし

海老名 悟 議員

本市の防災について

吾妻山の観測体制と本市の連携はどうなっているか。

〔市長〕気象庁や大学の研究機関が設置した機器等により24時間体制で観測・監視しており、異常が確認されれば仙台管区気象台から山形地方気象台、山形県、米沢市の順で通報が入ります。



県立米沢興譲館高校生徒の通学路について

興譲館高校が移転してから

〔総務部長〕担当者の携帯に24時間体制で連絡を受ける状態にあります。

老朽化したコミセンの防災拠点としての機能と安全性はどうなっているのか。

〔市長〕昭和56年以前に建てられた7施設は、地震災害時には二次避難所にならないことを考えています。

〔総務部長〕老朽化した二次避難所の建物の安全確認と住民への周知については、もう少し検討する時間をいただきたいと思っています。

自主防災組織についてどう考えているのか。また、同組

25年以上経過するが、依然として通学路の不便さは解消されていない。何か対応策はないか。また、最近では生徒自治会でも通学路の不便さが取り上げられたこともあり、興譲館高校の北側の農道を歩道などに利用できないか。

〔建設部長〕安全な通学路を確保する面から整備の必要性について、都市計画道路石垣町塩井線と万世橋成島線の一部につき、市街地環状線を形成し市街地の道路ネットワークとして重要な路線であると認識しています。石垣町塩井線は、早期着工を求め関係地区

織に対する研修についてどう対応しているのか。

〔市長〕本市は羽越水害以降大きな災害がなく、市民の危機意識が低く自主防災組織結成の阻害要因になっていると思われる。同組織の育成事業として出前講座や防災講座の開催、県の消防大学でのリーダー研修会参加費を負担するなどの支援を行っています。

地下水利用と地盤沈下について

本市の地下水の利用状況はどうなっているのか。また、地盤沈下対策について具体策

から要望書もいただいております。同線南部延伸事業促進期成同盟会の設立総会も11月に行われました。まずは市街地環状線としての万世橋成島線と連携を図るため、今後も引き続き県と協議を深め、早期着工できるような環境を整えたいと考えています。また、同高校の北側の農道の利用のご提案は、その必要性や詳細を同高校からお聞きする必要があります。この道路は、公道ではなく未舗装の法定外道路のため、問題点もありますので、ご提案として受けさせていただきます。

はないのか。

〔市民環境部長〕本市の地下水採取井戸約3000本のうち消雪用途が約2200本、農工業用途が340本、生活用途が230本となっています。地盤沈下対策として井戸の口径規制や採取量の把握、節水啓発、量水器や降雪センサー等への補助金交付を実施しています。今後は、産学官が連携して地下水の適切な利用と地盤沈下対策を検討する場を設ける必要があると考えています。





自民クラブ

佐藤 忠次 議員

次期市長選への意思
表明は

4期目の意思表明はいつごろされる予定なのか。
〔市長〕直面する課題に全力で取り組むことが何よりも重要で、次期の選挙については現段階では何も申し上げるべきではないと考えています。

特別養護老人ホーム
の新設について

要介護3以上の待機者が入所できる特別養護老人ホームの新設はないのか。
〔健康福祉部長〕新たな施設整備に伴う費用負担が増加することの将来的な影響を考慮し、米沢市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画期間



市政クラブ

小久保 広文 議員

日本一の学校給食を目指して

米沢の学校給食の特徴は、だしから手作りするこだわった給食を提供している点である。親子給食実施の学校では手作りし難い状況にあるが、教育委員会は把握しているのか。

〔教育長〕状況は把握しており、親子給食を実施している

学校については、調理従事者配置基準の見直しや高度な調理機械の配置を行っています。が、何より素晴らしい技術を持った調理師の知恵と努力により、時間がない中でも手作りにこだわっています。
米沢の学校給食は自校方式や手作り等で、東日本でトップレベルと言われているが、おいしさ、食育、地産地消で

中に新設は行わないものと考えています。

公共施設の建て替えについて

今後のコミュニケーションセンター建て替えの年次計画は。
〔教育長〕現施設の老朽化の状況や安全性、国などの財政支援、長期的な本市の財政事情等、さまざまな条件を総合的に勘案した上で、本市の公共施設全体の中で整備していくこととなりますので、平成28年度を初年度とする新総合計画策定の中で検討し、推進していく必要があると考えています。

市立病院の建て替えについての市長の考えと、用地確保についての考えは。

〔市長〕市立病院は3市5町からなる置賜二次保険医療圏の中核的な医療機関の一つとして地域医療に貢献しています。病院建設は、まちづくりにおいても重要な位置を占めていますので、その観点も十分考慮して今後の建設計画を進めていきます。

〔病院事務局長〕病院の建設場所については、通院の利便性を考慮し、市街化区域、あるいはそれに隣接した区域が病院用地に適しているものと

おいしい給食、食育、地産地消に積極的に取り組めます。



▲給食の調理の様子

臨時・嘱託職員の待遇、
安定雇用について

本市で働く臨時・嘱託職員

考えており、さらには本市のまちづくりにおいても整合性を考慮する必要性もあり、現在本市が保有する用地で必要な面積を擁した適切な場所はないものと考えています。



▲建て替えの検討が進められている市立病院

の配置状況はどうなっているか。

〔総務部長〕市立病院を除いて、臨時職員69人、嘱託職員145人、合計214人で比率は26・5%です。

一律に応募要件に制限を設けるのは、平等取り扱い原則や成績主義の観点から避けるべきで、雇用期間上限制度は廃止すべきではないか。

〔総務部長〕嘱託職員で資格が必要な職は、後任者確保が困難で欠けることで業務に支障が出る場合、例外的に5年を超えて任用を行っています。



一新会
いっしんかい

齋藤千恵子
さいとうちえこ
議員

想定外の豪雨災害から命を守る方策について

高齢者・障がいのある人等、避難行動要支援者名簿の活用についてどう考えているか。

〔市長〕本市では、登録希望の災害時要支援者の名簿の作成が完了し、11月に民生委員・児童委員に提供したところであります。今後は自主防災組織への

提供を進めて、安全な避難や円滑な救助活動が受けられるよう支援してまいります。

樹木整理による流木発生の抑制による洪水氾濫防止は重要な事業だと考える。県に働きかけるだけでなく、沿線に住む方々の協力もお願いし、早急に河川環境を整備する必要があると思うがどうか。

〔市長〕本市としては、河川



自民クラブ
じみんくらぶ

堤郁雄
つつみいくお
議員

米沢北インターチェンジ周辺の開発について

村山市は市長をはじめとして、国などに農業振興地域の規制緩和を要望している。本市は北インターチェンジ周辺を積極的に開発しないのか。

〔企画調整部長〕本市においては都市計画用途地域の密度を高め、コンパクトなまちづくり

くりを目指しています。また、当地域につきましては、優良農地として維持・保全することした方針に変わりはありません。

公共施設の建て替えについて

老朽化した公共施設の建て替えについて、順番などの指針はあるのか。

管理者である県に対して引き続き河川施設整備の促進と共に、適時適切な維持管理に努めるよう要請してまいります。

社会教育事業のあり方について

コミセンの来年度の事業費予算削減の方向性について問うが、生涯学習ばかりでなく、社会教育をまちづくりの視点で中核に据えるならば、今回のような各コミセンの大幅な事業費削減予定はあり得ないと思う。本市の今年度末10億円の赤字見込みという財政悪化に伴い、予算削減の

〔企画調整部長〕総合的な指針というものは、現在は明確に定めていません。

明確な指針もなく「お金がないから長寿命化します」と聞こえるが建て替えできるのか。

〔企画調整部長〕ニーズの高いもの、緊急度の高いものを厳選し、一定のものについては、計画を進めさせていたいただきたいと考えています。

老朽化したコミュニティセンターの建て替えは行わないのか。

〔教育長〕第3期米沢市教育文化計画の社会教育の施設整備



▲愛宕コミセンでの事業の様子

予先が、市民の文化を育てる社会教育施設に何故向けられるのか。さらに、このような事態は、財政上の危機管理が

備等に関する事項の中で、着実に充実を図ることとしています。

御成山公園ジャンプ場について

御成山公園ジャンプ場の利用状況と今後の利用促進について考えはどうか。

〔教育長〕主に中学生が利用するミディアムヒルジャンプ場は、度々全国中学校スキー大会の競技会場になっており、東日本では本市を含め6箇所、県内では唯一となっております。合宿や大会を行うことによ



▲御成山公園ジャンプ場

なされていなかったからではないのか。

「機関車トーマス」米坂線を走る提案について

この事業は、本市の認知度を高め、大きな観光資源になると思うがどうか。

〔産業部長〕多くの課題があり、現実的には難しいと考えています。

り、選手や保護者などが市内宿泊施設や観光施設を利用することで、地域経済の活性化にも寄与するものと思われるので、一層の利用促進を図りたいと考えています。



無会派
たかはし

高橋 寿 議員

今冬は「福祉灯油」の実施を

高齢者世帯、障がい者世帯などへ灯油購入費を助成する「福祉灯油」を今冬は本市も実施すべきと考える。

11月18日、私も含め、県内の共産党地方議員が副知事に「福祉灯油を実施する市町村に昨年に続き県が補助金を出

すよう」要請した。副知事は「昨年の反省を踏まえ検討したい」と述べ実施に前向きな意向を示した。

本市は、一昨年、昨年と実施していないが、今冬の実施についてどのように考えているのか。

〔健康福祉部長〕本市では、「福祉灯油」の実施は市単独事業で実施できるよう基準を定



一新会
しづま

澁間佳寿美 議員

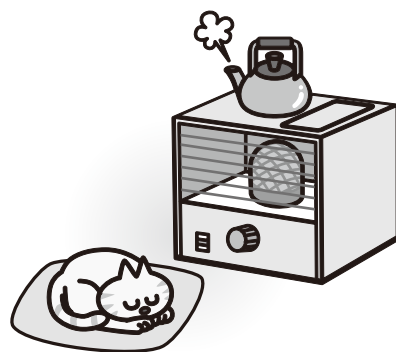
原点に立ち返り施策の展開を

県議を目指すため筋を通し市議を辞職する。筋を通すことや原点、理念は大事と考えており、どのような理念で市政運営を行っているのか。

〔市長〕「市民こそ主役」を第一の旗印として市政運営を行ってきました。

聞くたびに市政運営の理念が変わるようなことはやめていただきたい。私の政治の師である遠藤武彦先生は「地方が良くならなければ、国が良くなるはずがない」と一貫しており、ようやく地方創生担当大臣ができるまでになった。地方創生法に基づき、米沢の地方創生政策は何か。

〔市長〕本市の基幹産業であ



め、取り組むことにしています。今冬の灯油価格は、基準の価格に達していませんが、今後、国、県が実施するとな

るものづくり産業の振興など総合戦略の策定が必要であると考えています。

政策の根本は裏付けとなる財源であり財政政策である。赤字運営の厳しい財政になっ

ているが、ふるさと納税など何度も議会から財政に寄与するよう提言をしても行わない。さらに経常収支比率について他市町も同じと市長の認識も甘く、無策のままではない。さらに財政難を招いている。どのような財政運営を行うのか。

〔市長〕ご説明の財政状況になったことは申し訳なく思っ

れば、実施に向け取り組みなければならぬと考えています。事業額や実施時期等の補助内容を勘案し、実施の判断を見極めたいと考えています。また、今後の灯油価格の推移を引き続き注視していきたいと考えています。

中学3年まで医療費は無料に

本市は子ども医療費無料化（外来受診）の対象年齢を段階的に引き上げてきた。しかし、本市のように小学6年までにとどまっている県内自治体は少ない。ほとんどの自治

体は少ない。ほとんどの自治体は少ない。ほとんどの自治

体は少ない。ほとんどの自治

体は少ない。ほとんどの自治

体は少ない。ほとんどの自治

体は少ない。ほとんどの自治



▲平成11年の選挙公報紙

候補者の市長は「長期政権の交代」と書いているがどうか。

体では、中学3年に引き上げているのが現状だ。本市も中学3年に引き上げるべきではないか。

〔市長〕現在、県内35市町村のうち31市町村が中学3年までを対象としています。

本市では、平成24年度は小学1年まで、平成25年度は小学3年まで、今年度は小学6年までを対象を拡大してきましたが、さらに中学3年までの拡大が必要と考えています。財政的な観点や事務処理及び人員体制などについて、実施への検討を前向きに行っているところです。



公明クラブ
やまだ ふさこ

山田富佐子 議員

市民に信頼される市役所とは

本市が目指す基本理念は文章化されているか。

〔市長〕基本理念の文章化されているものはありません。今後、簡潔明瞭な文章化について検討したいと考えます。

職員は市民が相談や手続きに來ている傍で、市民の目線

を気にしながら休憩、昼食をとっている。職場環境の整備は、管理監督者として義務と考える。職員の休憩休養室を確保すべきと考えるがどうか。

〔総務部長〕7階の休憩休養室が手狭のため、各職場で休憩、昼食をとっている状況です。お茶の飲み方について市民が不快に思わないようなことができるかどうか検討した

放課後児童クラブの公設民営の取り組みについて

いと思いますが、7階フロアの全面改築には経費がかかることもあり、抜本的な解決は難しいと考えます。

「余裕教室や移設可能な敷地について放課後児童クラブに利用できないかを検討し、使用計画や活用状況を公表すること」と国から通知が來ている。本市の空き教室数及び移設可能な敷地の有無は。

〔教育管理部長〕現在、空き教室はありません。敷地については、個別対応させていた



▲放課後児童クラブへの要望がある分園「光」

だきたいと思っています。東部小学校正門前の分園「光」は、今年3月に閉所するが、放課後児童クラブへの要望がある。大変適地であるがどのように考えているか。

健康マイレージ制度の導入を

健康率向上や健康教室、日々の運動等健康づくりを推進するメニューをポイント化し、地域の特産物や割引券と交換する制度で、全国で導入しているが、本市の考えは。

〔健康福祉部長〕県は27年度実施予定であり、健康率向上にも効果があることから、実施に向け検討していきます。

〔総務部長〕10億円の赤字が見込まれることについては財政難だと思っています。これを解消するためにもできるだけ健全な財政運営に努めていきます。

今後公共施設における管理の基本的な考え方、更新の実施方針、長寿命化、統合や廃止の進め方について等の総合管理計画を早急に策定すべきと考えるがどうか。また、この状況を打開するためのビジョンと道筋をしっかりと市民に示していくことが重要であると考えているが、市長の考えはどうか。

将来に向けて公共施設とどうかかわっていくのか

今年度、10億円の財政赤字が予測される厳しい財政面において、将来の公共施設大量更新について当局はどのような認識なのか。

〔市長〕上水道や病院の企業会計の施設や道路、橋梁等のインフラ系施設を除いた本市



一新会
なかむら しゅんすけ

中村圭介 議員

が管理する建物は128施設であり、今後40年間に

建て替え及び大規模改修に要する費用は総額1435億円で、平均すると年間約35・9億円の費用が必要になると推計されます。今後、公共施設の維持・更新費等に充当できる財源はますます縮小していくことが予測されますので、現在の公共施設の総量維

持はほぼ不可能と考えられます。将来においては真に必要な公共サービスを低下させないためにも、公共施設の総量縮減を早急に進めていく必要があると考えます。

新文化複合施設建設に際して将来の財政状況について議会でも再三指摘してきた。しかし、広報において「後年度の負担額を十分に検討して計画していますので、事業実施しても健全な財政運営は維持できると考えています」と市民に周知しているが、現在もこれと同じ説明ができるのか。





明誠会
めいせいかい

木村 芳浩 議員
きむら よしひろ

インフルエンザ予防接種への助成について

本市では現在、中学校3年生までの医療費無料化に向け政策が段階的に進められているが、インフルエンザ予防接種の助成についてはどうか。
〔健康福祉部長〕 予防接種法に定められた定期接種のA類疾病とB類疾病について実施

しています。
置賜管内では、長井市・高島町・飯豊町・白鷹町・小国町でインフルエンザ予防接種の子供への助成を行っているようですが、本市では接種者の安全と万が一不慮の事故が起きた場合の補償などを考慮し、子供への助成は実施していません。



無会派
むかいば

小島 卓二 議員
こじま たくじ

市長4期目の立候補表明は

新文化複合施設の完成や、平成29年度開通予定の東北中央自動車道、また同時に完成予定の新道の駅等、市長が手掛けた施設の完成を市長として見届けたいと考えているか。
〔市長〕 任期がまだ1年と少しありますので、今は山積す

中心市街地のにぎわい作りは

中心市街地への定住促進策は。
〔市長〕 多様な都市機能やサービス機能がコンパクトに集積する密度の濃い生活圏をまちなかに形成し、中心市街地外

おしよしな乾杯条例に対する行政支援について

10月1日、日本酒の日に施行された本市の通称「おしよしな乾杯条例」は、他の自治体の条例と異なり、地酒で乾杯をする習慣を広めるほか、郷土料理の普及と継承により、地域経済の活性化に寄与することを目的としている。そうした観点から、幅広い業種への経済波及効果も期待されているが、本市の役割と経済効果をもたらすための策はあるのか。
〔産業部長〕 本市には他地域

から移住される方への支援など見込まれる効果と財政負担を総合的に勘案していきま

す。
子育て支援策として、まちなかに冬期間も遊べる遊具施設を設置すべきではないか。
〔企画調整部長〕 ビル所有者の方と何度か打ち合わせをしています。設置の時期については次期総合計画策定の中で判断していきたいと思っています。

新文化複合施設に市民課の窓口業務を設置できないか。
〔市民環境部長〕 オンラインによる住民基本台帳法に係る



▲市内4酒蔵のお酒

に誇る食を初めとした多くの歴史と伝統文化があり、地域独自の歴史・文化を生かして地域経済の活性化に取り組ん

操作のできる市職員を常時配置する必要があり、設置する考えはありません。

人口減少の解決策は

若者の流出を防ぐため、米沢版育英会を開設し、奨学金制度を設け、地元大学に進学し本市に就職した場合は、無返済とする政策はどうか。
〔市長〕 奨学金というののも一つの方策ではあると思います。

〔企画調整部長〕 国では、人口の減少に歯止めをかけ、地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本

できました。先日、乾杯条例に関して各関係団体より要望書を送ったところ、本市としては、関係団体、関係する課と連携を図りながら、乾杯条例に基づき市が行うべき役割を果たしていきたいと考えています。
愛の商品券同様に、乾杯条例記念商品券等を発行して、経済波及効果に結び付けてはどうか。

〔産業部長〕 ご提案いただいたことについては、内部検討を行い、できるだけ早いうちに方向性を決めていきたいと思っています。

社会を維持していくための施策を総合的・計画的に実施する内容の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。それを受け本市でも人口減少対策としてこの総合戦略の策定を進めていきたいと考えています。





一新会
いっしんかい

あい た
相田 光照 議員

農業振興と有機エレクトロニクスについて市長の考えは

「(仮称)農業振興計画」には、食料の安定供給、地域農業の若手・担い手育成、農業・農村それぞれの地域活性の3つの核となるものが必要である。長期・中期・短期目標という時間的な縦軸と現在の政

策という横軸のつながりを結べば「面」になる。稲作・畜産・果樹・花き・畑作など、様々な「面」が重なり「立体」になったものがこそが「農業振興計画」だと考える。国や現場の状況や予想外のことなど調整が必要な場合は、計画を見直すこともできる。このことを踏まえれば、今回の米価下落に対しても迅速かつ市独自



▲農業振興計画の早期作成を

の対策を講じられたはずだ。その点からも「農業振興計画」は必要だと感じているが、市長はどのように考えているか。

〔市長〕基本計画は、大変重要ですので多くのご意見を伺いながら、質問で出された話などを参考にし、策定作業を進めるようにしていきます。飯豊町に蓄電デバイスの開発センターの立地が決まったが、非常に危機感を持っている。このことに對し市長はどのように感じているか。

〔市長〕有機EL産業は、本市の専売特許のようなものであり驚きがありました。飯豊町は過疎債を起債し、7億の新工場建設資金を捻出できましたが、本市では難しいと感じました。ただし、山と

の信頼関係は太く、米沢中心で事業展開すると言っていたにいてるので、米沢で担えないところは飯豊町に担ってもらい、互いによくなる方向でいきたいと思っています。

「この額を先行投資してでも将来的に量産化が図られ、工場が集積し、雇用が生まれるかもしれない」という先見のな検証や議論をしたのか。〔副市長〕昨年の春頃まで、県の補助制度を活用できなかった等、山大の要望に誠意を持って対応してきたつもりですが、急展開で飯豊町に決まったと聞いています。

市立病院建替特別委員会

管外行政視察

市立病院建替特別委員会では平成26年10月31日、宮城県大崎市の大崎市民病院へ管外行政視察を実施しました。

大崎市民病院は、平成26年7月に、500床規模の大崎・栗原医療圏の拠点病院として移転新築されました。

視察では、建て替えの経緯(現地建て替え及び移転新築の検討課題)や建設工事、病

院の経営状況などをお聞きするとともに、病院内を視察させていただきました。

委員からは、現地建て替えから移転新築に変更になった経緯や、建設工事費に係る補助金等の活用状況などの質問があり、活発な意見交換が行われました。

今回の視察をうけて、今後の市立病院の建て替えに向け



て、さらに議論を深めてまいりたいと思います。

車椅子利用の方も傍聴できます。

本会議場には、昇降機を利用して、車椅子利用者の方が傍聴できる席(付き添いの方を除き約5名分)があります。市役所正面玄関の総合案内にお声がけいただけますと、議会棟へ職員がご案内いたします。利用なさる方は事前に議会事務局に連絡をいただくと円滑にご案内することができます。なお、定例会は6月、9月、

12月、3月に開会される予定です。

どうぞご利用下さい



● 議会事務局
Tel 22 - 5111
(内線 5623・5624)

予算特別委員会

12月12日に開催された予算特別委員会の審査から、
質疑の主なものをお知らせします。

〔委員〕県では、認知症の方が行方不明になった場合において、早期発見・早期保護につながるものとして、徘徊の恐れがある方の住所、氏名、顔写真などの情報を事前に自治体に登録する制度を勧めている。本市でもこの取り組みを早急に進めるべきと考えるがどうか。

〔高齢福祉課長〕徘徊高齢者事前登録制度については、平成27年4月に開始したいと考えており、現在、川西町及び米沢警察署と協議を行っております。

〔委員〕県は、生活困窮世帯への灯油購入費助成事業、いわゆる福祉灯油を今冬実施するようであるが、本市の考えはどうか。

〔健康福祉部長〕対象者をどうするか等、県要綱との兼ね合いもあることから、実施に向けて対応を検討したいと考えています。

〔委員〕学校給食における地産地消については、小規模校

では取り組めるが、大規模校ではなかなか取り組みにくいというのが現状であり、きちんとした計画を立てて地産地消が進むような方向性をつくるべきと考えるがどうか。

〔教育指導部長〕学校給食において地産地消を進めるべく、地元のさまざまな品目の利用について計画を立てて取り組む必要があると考えています。

〔委員〕アンテナショップについては、本市単独による常設の施設が必要と考えており、この中で、米沢をPRしていくことも農業振興につながっていくと思うがどうか。

〔農林課長〕本市単独による常設のアンテナショップについては、費用がかかることから、断念をした経過があります。なお、飯豊町では、杉並区の小学校へ出向いての出前授業の充実や学校給食への米の納入などに取り組んでいるとお聞きしていますので、本市と交流のある荒川区におい

ても、そのような取り組みや区のイベント等を通じて、信頼関係を深めながら米沢産米や農産物等のPRができないか検討しています。

〔委員〕本市の除雪業務委託の路線除雪単価は、時間単価ではなく距離単価で計算をしているが、中心部と山間部では、雪量や使用機械も異なり、除雪作業には隔たりがあることから、山間部を受託している業者から除雪単価の見直しについて要望があったと思うが、時間単価への見直しを含め、検討はなされているか。

〔土木課長〕中心部と山間部の除雪については、降雪量の違いがあるので、除雪業者の方から使用機械などの実情を調査し、対応を検討したいと考えています。

〔委員〕平成28年12月開署に向けて、(仮称)米沢消防署南西部分署の新設が置賜広域行政事務組合において計画されている。この分署に、災害時に必要な物品の備蓄や消防団の資機材などを保管するための防災拠点施設が設けられないということだが、本市は、同施設の設置をなぜ求めなかったのか。

〔危機管理主幹〕消防分署においては、職員がすべて出勤

することになり、消防資機材を常に管理することはできないことから、本署への整備を考えております。また、災害時に必要な備蓄品等については、避難所である全てのコミュニティセンターに配備しており、さらに、現在、中学校にも年次計画により配備しているところです。

〔委員〕多目的屋内運動場は利用率が高く予約がなかなか取れない施設である。近年、人工芝の老朽化が進んでおり、利用者からも張り替えの要望が出されているが、改修が進まないのはなぜか。

〔教育管理部長〕多目的屋内運動場につきましては、体育施設の中でも優先順位を最上位に位置づけて改修を進めてまいりたいと考えています。



▲早期改修が望まれる
多目的屋内運動場

〔委員〕厳しい財政状況の中、今回の給与改定では実質約1500万円の増加となる

が、これは、世代間の給与較差の解消を図り、人材をきちんと確保する体制をとりつつも、今後、全体の人件費としては、圧縮していくという検討段階に入っているという考えでよいのか。

〔総務課長〕現在の財政状況を考慮して、人件費の圧縮に向けての取り組みに着手しているところです。

〔委員〕地権者との口頭での合意により田沢浄水場建設の実施設計を行ったが、その後、地権者の都合により用地の譲渡が受けられなくなった。これにより建設用地を変更し実施設計料の約4割が無駄になったことは、新文化複合施設の建設用地変更の問題と同じであり、市長はこの責任を取る考えはないのか。

〔市長〕この種の事業における用地買収は、最初に文書で確約してではなく、測量の結果によって具体的に進めるものであり、この意味では新文化複合施設と全く同じということではありません。しかし、その進め方の妥当性と責任は別であり、その責任の取り方は、組織の基本的なあり方を職員に教えていくことだと思っています。

11月臨時会で審議された議案等

議案番号	件 名	結果
報第 12 号	専決処分事件の報告について	承認
議第 67 号	平成26年度米沢市一般会計補正予算（第4号）	可決

12月定例会で審議された議案等

議案番号	件 名	結果
報第 13 号	一般財団法人米沢市体育協会の平成26年度事業計画の報告について	承認
承第 2 号	専決処分事件の承認を求めることについて	承認
議第 68 号	置賜総合文化センターの指定管理者の指定について	可決
議第 69 号	市立米沢図書館等の指定管理者の指定について	可決
議第 70 号	米沢市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第 71 号	米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議第 72 号	米沢市敬師児童センター等の指定管理者の指定について	可決
議第 73 号	米沢市国民健康保険条例の一部改正について	可決
議第 74 号	米沢市福祉事務所設置条例の一部改正について	可決
議第 75 号	米沢市児童センター使用料条例の一部改正について	可決
議第 76 号	米沢市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の設定について	可決
議第 77 号	米沢市地域包括支援センターの事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の設定について	可決

議案番号	件 名	結果
議第 78 号	米沢市立病院医師奨学資金貸付条例の設定について	可決
議第 79 号	平成 26 年度米沢市一般会計補正予算(第6号)	可決
議第 80 号	平成 26 年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決
議第 81 号	平成 26 年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議第 82 号	玉の木町住宅等の指定管理者の指定について	可決
議第 83 号	平成 26 年度米沢市一般会計補正予算(第7号)	可決
議第 84 号	米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市技能職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
議第 85 号	平成 26 年度米沢市一般会計補正予算(第8号)	可決
議第 86 号	平成 26 年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可決
議第 87 号	平成 26 年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）	可決
議第 88 号	平成 26 年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可決
議第 89 号	平成 26 年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）	可決
議第 90 号	平成 26 年度米沢市一般会計補正予算(第9号)	可決
請願第 7 号	集团的自衛権行使に反対する意見書提出についての請願	不採択

※ 請願の採決結果は、18 頁にも掲載しております。

議案の賛否一覧表

◆ 賛否が分かれた議案についてのみ掲載しています。

12月定例会	議案番号 請願番号	会派 議員名	採決 結果	明誠会			公明 クラブ		政鱗会		無会 派	自民クラブ			一新会						無会 派	市政クラブ				
				木 村 芳 浩	相 田 克 平	高 橋 嘉 門	佐 藤 弘 司	山 田 富 佐 子	山 村 明	鈴 木 章 郎	高 橋 壽	佐 藤 忠 次	遠 藤 正 人	堤 郁 雄	工 藤 正 雄	齋 藤 千 恵 子	島 軒 純 議 長	海 老 名 悟	洪 間 佳 寿 美	相 田 光 照	中 村 圭 介	小 島 卓 二	佐 藤 晃	高 橋 義 和	小 久 保 広 信	我 妻 徳 雄
	議第 69 号	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	議第 82 号	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	議第 83 号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	議第 84 号	可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 85 号	可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願第 7 号	不採択	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○

○ = 賛成 × = 反対

島軒純一議長は採決に加わりません。

議員が議案に対して示した賛成や反対などの態度について、市民の皆さまにお知らせしております。

上記『11月臨時会、12月定例会で審議された議案』及び18頁の請願と合わせて、『議案の賛否一覧表』をご覧ください。

第3回 平成26年10月14日から24日まで 「議会報告会・意見交換会」報告



▲松川地区での「議会報告会・意見交換会」の様子

「第3回議会報告会・意見交換会」を昨年10月14日から24日までの期間、市内17地区のコミュニティセンターにおいて開催しました。

今回は、新たな試みとして、「人口減少問題」「防災対策」「身近な地域課題」の3つのテーマを設定し意見交換会を行いました。

今号では、皆様からいただきました貴重なご意見・ご要望につきまして、市当局に回答を求めた内容の主なものと、現時点における、各常任委員会での検討内容についてお知らせいたします。

災害時の避難所に各コミセンが指定されているが、木造や老朽化コミセンは避難所として適切か。

(広幡地区・塩井地区・窪田地区)
【当局回答】災害時の避難所については、「災害対策基本法」の一部改正により、災害の種類ごとに安全性等の一定の基準を満たす施設を指定することが示されました。建築年か

総務文教 常任委員会所管

当局に回答を求めた内容

ら相当経過しているものについては、地震の場合は避難所としての安全性が図れないものと考えられますので、一定の基準を設けてそれに該当する施設は避難所としては使用しないことで検討しております。

なお、土砂災害、洪水などの災害においては避難所として引き続き使用できるものと考えておりますが、今後の土砂災害法に基づく「土砂災害警戒区域指定」の結果を待つて最終的な見直しを行うこととしております。

新中学校は、何十年も使われるものであることから、用途等に変更があった場合、即対応できる「柔軟な

「第3回 議会報告会・意見交換会」参加人数

No.	地区名	男	女	計	前回計	前々回計
1	中部地区	12	2	14	18	26
2	東部地区	13	3	16	10	19
3	西部地区	14	2	16	27	30
4	南部地区	19	3	22	20	24
5	北部地区	9	2	11	18	14
6	松川地区	24	6	30	18	16
7	愛宕地区	16	2	18	9	12
8	万世地区	10	1	11	13	13
9	広幡地区	13	1	14	10	17
10	六郷地区	5	0	5	6	6
11	塩井地区	8	1	9	8	8
12	窪田地区	14	1	15	9	25
13	三沢地区	5	2	7	10	15
14	田沢地区	15	0	15	14	19
15	山上地区	15	1	16	16	16
16	上郷地区	9	0	9	7	28
17	南原地区	13	0	13	23	19
合 計		214	27	241	236	307

設計」をして欲しい。(南原地区)

〔当局回答〕(仮称)南地区中学校については、平成32年4月の開校を目標に事業を進めてきましたが、このたび国策として、学制の変更という教育制度の大きな改革が進められようとしています。

つきましては、来年度の国による法整備を見極めるため、推進事業については一旦立ち止まり、今後の進むべき方向を決定していきます。

なお、学制の変更とは、6―3制(小学校6年間、中学校3年間)の学制を見直し、小中一貫教育学校(9年間)を制度化するもので、4―5制や4―3―2制、校舎についても小中学校校舎一体型や分散型など、様々な形態について検討が進められています。

(仮称)南地区中学校については、以上のような状況にありますが、校舎建設の際には柔軟に対応できるような設計を検討していきます。

山形大学工学部の蓄電デバイス開発研究施設が、飯豊町に誘致されることになったが、本市と山形大学工学部との連携は大丈夫か。

(松川地区・南部地区)

〔当局回答〕山形大学とは、常に機会をとらえて情報交換を行っているほか、まちづくりや大学の研究支援など、多方面にわたって相互に協力体制を構築しています。特に有機エレクトロニクス分野については、産

業化を目指して連携を図っています。

また、米沢オフィス・アルカディアの一部を山形大学の研究成果を中心とした研究開発拠点とするため、両者で検討委員会を組織し検討を行っているところです。

山形大学では、今後も、本市を中心として様々な可能性を模索しながら蓄電デバイスも含め有機エレクトロニクス技術の事業化に向けた開発研究を進めていくこととしていますので、本市としても、今後も本市の産業振興に資するように連携を密に取り組んでいきます。

自主防災組織対象の防災講習をもっと充実させてほしい。(窪田地区)

〔当局回答〕自主防災組織の育成事業としては出前講座や鷹山大学の防災講座を開催し、防災に対する基礎



▲上郷地区で行われた自主防災組織による防災訓練

知識と自主防災組織の必要性の周知を図っております。

また、日本赤十字社、米沢消防署、消防団の協力が可能な訓練事例の紹介や県や他の団体による研修会、講習会の案内を行っております。

さらに県の消防大学校で行っている自主防災組織のリーダー研修会に市の費用負担で希望者を派遣しているところですので、ご活用いただきたいと思います。

民生

常任委員会所管

子育てをしている母親は、様々な悩みを抱えている。しかし、相談できる場所が、米沢市内には少ないので、様々な相談ができる窓口をつくっていただきたい。(三沢地区)

〔当局回答〕こども課相談担当で相談をお受けしています。来庁による相談のほか、電話でもお受けしております。相談専用の電話番号22―5113にお掛けいただくと直通で相談担当につながります。また、市内に6箇所ある子育て支援センターでも相談事業を実施しております。これらの周知については、母子手帳の交付や転入の際に配布している子育てハンドブックやホームページ等でお知らせしています。

民生委員に対し要支援者名簿は開示すべきと考えるがどうか。

(東部地区)

〔当局回答〕高齢者や障がい者等の災害時に支援が必要となる災害時要援護者については、市への登録をもって民生委員や自主防災組織等に情報提供を行い、地域の中での支援が行われるよう働きかける取組みを行っています。

民生委員に対する情報提供については、平成26年11月28日に登録されている災害時要援護者について、情報提供を行ったところです。

松ヶ根橋河川敷公園は地元の管理であるが、芋煮会シーズンのゴミがひどく、町内では手におえない。「ゴミ持ち帰り」などペーパーラシの回覧を要望する。(塩井地区)



▲ゴミが散乱した状態の松ヶ根橋河川敷公園(鬼面河川緑地)

【当局回答】松ヶ根橋河川敷公園（鬼面川河川緑地）は、芋煮会やバーベキューなどで利用されることが多く、これに伴うゴミが持ち帰られず残される場合があります。その状態があまりにもひどいとの情報が寄せられたため、平成26年9月下旬、散乱しているゴミを地元住民の方と片付けたところです。

なお、都市公園等において芋煮会を行う際は、ゴミを必ず持ち帰って各自で処分するよう、市ホームページで周知しておりますが、機会をとらえて市広報等でも周知することを検討していきます。

不登校生徒を受け入れている民間施設があるが、それらの施設に行政支援がないようであるがどうか。

（三沢地区）

【当局回答】本市における不登校児童生徒をはじめとする学校不適応等への対応は、主にスクールガイダンスプロジェクト事業で行っています。が、学齢期の子どもの対象としており、学齢期前の子どもの発達障がいや不適応への支援、学齢期を過ぎた方々の引きこもり等への対応は課題の一つとなっています。

このようなことから、民間の施設等とは連携を図っていくことの必要性を感じており、国の動向なども確認しながら、行政支援等のあり方について関係各課とともに検討していきます。

産業建設

常任委員会所管

外国人観光客の受け入れについて検討をすべきと思うがどうか。

（松川地区）

【当局回答】インバウンド（海外からの観光誘客）施策については、市だけではなく、商工会議所や観光物産協会等の関係機関が連携、協力して取り組むべきことと考えています。

現在、市としては「米沢コンベンション協議会」に事業を委託し、研修会による意識向上やWiFi環境の設置支援、本市観光振興計画策定に向けた意見をまとめるワーキンググループでの検討などの事業を進めています。また、以前、米沢国際交流協会で作成した外国語マップの情報を再校正した「観光・生活情報マップ」を作成中です。

2020年東京オリンピックの開催に向けて外国人観光客が増加していくものと思われ、受入れ態勢の整備や誘客促進を図っていきます。

乾杯条例は、まだまだ周知されていない。もっとPRしていかねばならないのではないか。（三沢地区）

【当局回答】「米沢市地酒による乾杯

を推進する条例（通称名 おしよしな乾杯条例）」は、平成26年10月1日に施行しましたが、条例が施行されて間もないこともあり、まだ条例の認知度が低いと感じております。本市としても、多くの市民にこの乾杯条例の趣旨をご理解いただくことが大切であると考えています。そのため、広報よねざわや市のホームページでの周知のほか、各課の会議での実施と関係団体等への周知を図っており、今後も機会を捉えて周知を図りたいと考えています。

条例の制定をきっかけとして、市民一人一人が地元のすばらしい郷土料理や地酒に親しみ、その良さを多くの皆さんに伝えることで、地域が活性化されることが期待されますので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。



▲「おしよしな乾杯条例」の施行日に開催された祝賀会（平成26年10月1日）

猿、イノシシ被害が深刻であり対策を講じる必要があると考えるがどうか。モンキードッグを増やせないか。（万世地区）

【当局回答】本市の有害鳥獣対策は米沢市有害鳥獣対策連絡協議会を中心に関係機関と連携をとり、その結果一定の成果を上げているところです。

今後一つに特化することなく様々な対策を効果的に組み合わせることが有効と考えており、電気柵の設置やモンキードッグ・花火による追払いなどによる防除、放任果樹などの誘因物の除去や刈り払い等による環境整備、個体数調整による捕獲をバランスよく実施する必要があります。

特に近年増加傾向にあるイノシシについては、前記活動の他に地区のリーダーとなる方々を対象にした研修会を行い、捕獲檻を設置するなどの対策を実施しています。さらに今後は米沢猟友会の協力を得ながら捕獲活動の積極的な推進を行うことを検討しています。

また、モンキードッグを増やすためには、犬を操るハンドラーの育成が課題となっており、簡単に頭数を増やすことはできないので、まずは、モンキードッグの有効な活用策を検討したいと考えています。

なお、ハンドラーの育成についても継続して検討していきます。

除雪価格の設定が距離精算であるが、降雪量の違いを考えれば時間精算にすべきではないか。（上郷地区）

【当局回答】除排雪業務委託においての除雪単価は、早朝除雪及び日中の「ざけとり」については距離方式を、歩道除雪や排雪、交差点処理については時間方式を共通で採用しています。

これまでも、早朝除雪については時間単価方式の採用を検討してきた経緯がありましたが、除雪路線は山間部と市街地、広い道路と狭い道路、交差点が多い路線や屈曲部が多い路線など、さまざまな作業環境、作業条件を有しています。

そのため、距離方式から時間方式に変更した場合の課題として、主に①特に狭隘道路が多い市街地の除雪の改善にどれ位つながるのか、②早朝3時から7時までの限られた時間内に除雪作業が完了できるのか。できない場合は除雪機械の状況やオペレーターが増員が可能か、③私道除雪の負担割合関係はどうなのか、④さらに除雪経費が増大が生じれば財政負担は可能なのか、などがあります。

そのようなことから、現在のところ、時間方式の採用については、大きな課題として除排雪業務委託の全体的な見直し時に検討を深めていきたいと考えています。

常任委員会における検討内容

総務文教常任委員会

これまでの議会報告会・意見交換会を通じて市民の皆さんから寄せられたご意見ご要望のうち、次の3件について継続して検討しております。

1 消防団員の確保と所属事業所の優遇措置

長野県茅野市の消防団サポーター事業を研修し、報酬の増額や少年消防隊の育成、サポーター事業協賛店舗の拡充などを参考に広域消防へ提言します。

2 過疎化地区への対応策

山梨県甲州市の過疎集落自立再生対策事業を研修し、ハード中心の支援から住民主体で実施するソフト事業へ転換していることを参考に、本市の「輝くわがまち創造事業」をより充実させていくことを提言します。

3 公共交通システムの改革

山梨県甲州市や近隣の川西町、飯豊町のデマンド交通システムを視察しました。本市では平成26年11月から1年間をかけて山上・松川地区の一部において乗合タクシーの実証実験を実施することになりました。

民生常任委員会

民生常任委員会では、議会報告会いただいたご意見や、市内の各種団体との懇談会でお伺いした意見・要望等を基に、課題を整理し、先進地視察先を決定し施策の充実や事業実施の実現に向けて取組んでまいりました。

先進地視察では、高齢者の居場所づくり事業について米原市を視察し、その取り組みを地域福祉計画や地域の協同活動に生かしていくように要請しました。

次に、五歳児検診について善通寺市を視察し、五歳児検診の早期実施と横の連携について当局に要請しました。

再生エネルギーの推進では、真庭市を視察し、バイオエネルギー発電等を公共施設の新設の際に取り入れるよう当局と意見交換をしました。

本市の一大プロジェクトである市立病院建て替え関係で坂出市立病院を視察し、病院建て替えの財政計画や経営のノウハウ等を伺いました。

また、本市の医療の充実や病院経営の安定のために、市立病院の医師の確保が重要であることから、医学生への奨学金制度の制定を訴え、実現することができました。

産業建設常任委員会

平成25年10月の「第1回議会報告会・意見交換会」におけるご意見のうち、次の3項目を政策提言としてまとめ、市長に提出しました。

提言1 雇用確保・企業誘致対策について「賃貸型オフィス（工場）の設置」
提言2 「羽黒神社・普門院」周辺の環境整備について「羽黒神社・普門院の観光資源としての活用」
提言3 猿害対策等の補助制度創設について「電気柵設置の助成・補助制度の創設」

平成26年10月の「第3回議会報告会・意見交換会」におけるご意見のうち、現在、次の2項目について、継続して検討を進めます。

1 産業特区制度を使いカンフル剤になるようなことをしなければ、人口減少は止められないのではないかと。

【議会】どのような特区制度があるか調査し検討します。

2 米沢の人口規模で、このように多くドラッグストアが氾濫しているところはない。地元商店を残すためにも建設条例をもつ一度見直すべき。【議会】条例を定めている先進地の取り組みについて調査し検討します。

市議会3月定例会 日程（予定）のお知らせ

- 2月 25日 開会（本会議さもの議会）
27日 代表質問
3月 2日 代表質問
3日 一般質問
4日 予算特別委員会（補正予算）
5日 総務文教常任委員会
6日 民生常任委員会
9日 産業建設常任委員会
10日 予算特別委員会
11日 本会議（補正予算採決）
予算特別委員会
12日 予算特別委員会
13日 予算特別委員会
17日 予算特別委員会
19日 悪臭問題特別委員会
市立病院建替特別委員会
24日 最終日（本会議）

※請願の提出期限は、2月18日（火）午後5時の予定です。

日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 22-5111（内線5623・5624）

議会を傍聴 してみませんか

本会議、委員会ともに、受付で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。



12月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

不採択

- ◆集团的自衛権行使に反対する意見書提出についての請願（請願第7号）

（憲法9条を護る米沢市民の会
代表世話人 九里 廣志 外4名）

スポット

秋の園遊会 に招待されました

米沢市議会より、島軒純一議長が、平成26年11月6日（木）天皇后両陛下が主催された秋の園遊会に出席しました。今年度、全国市議会議長会地方行政委員会委員長を務めていることで、今回ご招待いただきました。

当日は米織の着物を着て出席し、天皇后両陛下をはじめ、皇族の方々からお言葉を賜りました。



（赤坂御苑にて）

市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だより、悪臭問題特別委員会の活動の様子などを紹介しています。また、本会議は録画中継、委員会はライブおよび録画中継しております。

アドレスは下記のとおりですのでぜひご覧ください。

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1013.htm>
詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

あとがき

昨年12月初めの大寒波に始まり、年末年始の寒波で市内は雪一色となりました。例年になく今冬の雪は、水分を多く含んでいるために重く、除雪作業も一苦労されていることと思います。雪下ろし等の作業中の事故も多発しております。ぜひ、ヘルメット・命綱・複数での作業を心がけていただきたいと思います。

今回の議会だより135号は、昨年10月開催の「第3回議会報告会・意見交換会」の報告もあわせて掲載しております。私たち議員が、一丸となり、市民の声・地域の声を市政に届けてまいります。今年の干支は「未」。「未」の字は、木の枝葉が茂りゆく形を表しています。字形の通り、榮えゆく未来へ、米沢が躍進する年になるよう取り組んでまいります。

【編集委員 山田富佐子】

